

## かん字のれんしゅう

2年松組 川瀬 隼

ぼくは、1年生のころ、かん字が大きらいでした。でも、2年生になって、もっとかん字をれんしゅうしようと思いました。りゆうは3つあります。

1つめは、かん字は、ずっと使うとしまったからです。家でおかあさんが、こう言っていました。「かん字は、ずっとつかうから、子どものうちに、べんきょうをしないとこまるよ」と。それでぼくは、「おとなになってだいじょうぶかなあ」と思いました。おかあさんのことばがきっかけになって、かん字のれんしゅうをしようと思いました。

2つめは、2年生になってもかん字が書けなかったらはずかしいからです。クラス全員でかん字を書いている中で、1人だけかん字を書けなかったら、はずかしいと思ったからです。

3つめは、いろいろなことができなくなったり、こまったりするからです。かん字は、学校でもかいしゃでも、日じょうでも、よの中どこでもつかうので、書けなかったらこまるからです。もし、立ちいりきんしのテープがはってあっても、そのかん字がよめなかったら、入ってしまいます。かんばんがよめなかったり、ちらしがよめなかったり、いろいろなものがよめないとこまります。だから、かん字のれんしゅうをがんばりました。



## いろいろな目ひょう

2年竹組 山本 悠太

ぼくは、自分でもびっくりするくらい大きな声を出すことができるところが自分の好きなところなんです。だから、友だちに「おはよう」と、元気よくあいさつすることをがんばっています。ほかには、じゅぎょうの発表やごうれいを大きな声ではきはきと言うようにしています。いつも元気にしていたら、友だちが、帰りの会の『良いとこみつけ』で、ぼくのあいさつのことをほめてくれました。とてもうれしくて、毎日つづけようと思いました。

2年生になったとき、算数とかん字をがんばろうと目ひょうをたてました。算数は、毎日、たし算と引き算のカードや、九九カードをやるようにしています。じゅぎょうでは、先生や友だちの話を聞いて、たくさんはっぴょうするようにしました。がんばったら、算数のもんだいが、すらすらとけるようになりました。かん字では、さいしょ、はずかしいくらい字がかけなかったです。だけど、きょうとう先生の書しゃのとき、目をとじておちついてから字を書くと、すぐに上手に書けました。だから、かん字のれんしゅうのときに

は「ゆっくり、ていねいに」を心がけてれんしゅうをしました。そうしたら、友だちから「上手だね」とほめられて、うれしくなりました。

2年生になって、すきになったものがあります。それは道とくです。1年生のころは、にがてでした。でも、道とくの時間に友だちのいけんを聞くと、「すごいな」と思います。自分じしんをかえたり、自分の心をやさしい心にかえたりするじゅぎょうだと思いました。そして、自分の気持ちをつたえると、みんなが聞いてくれるので、1ばんすきなじゅぎょうになりました。



ぼくは、2年生になって、がんばったらいろいろなことができるようになることに気づきました。だから、3学期には、さらに2つことにちょうせんしたいと思います。

1つ目は生活科です。生活科では、絵や文しょうをくわしくかきます。そのときに、字をすごくていねいに書きたいです。2つ目は歌です。ぼくは、たかい声が出にくいです。でも、がんばってれんしゅうをしたら出るようになると思います。朝れいで先生が教えてくださることをまもってがんばりたいです。そして、朝の会や朝れいで、元気よくひびくように歌いたいと思います。

## ぼくが変わった日

4年松組 森山 広大

クラスみんなは、いつもあいさつや返事の声がとても大きく、ぼくは、すごいなあと思っていました。ぼくは、小さいころから、人前で声を出すことが苦手で、はずかしくてたまりませんでした。その日先生は、ぼくたちに、「昨日の自分より、すてきな自分になろうとしてほしい」という話をされました。ぼくは、もっと全力を出そうと決心し、まず友達と、「明日の健康観察は大きな声で言おう」と約束しました。家で大きな声を出す練習をしてみました。この声でだいじょうぶか心配で、自分の声をろく音して聞いてみました。自分では、大きく出せていると思いました。今日は絶対にみんながおどろくくらい出そうという思いで家を出ました。そして、健康観察。息をいっぱい吸って言いました。すると、拍手がおきました。「広大大くん、すごい」「大きい声で、びっくりした」と、みんながほめてくれました。ぼくは、みんなの前で大



きな声が出せたことがうれしくて、心の中で「やったあ」と思いました。そして、昨日よりすてきな自分になれたと思いました。その日からずっと、ぼくは、大きな声で返事ができています。

## やさしきで変身

4年竹組 伊藤 心菜

4竹は、みんなが優しく思いやりがあって、パワーもあるので、じゅ業中よく発言をしたり、自主勉強をたくさんしたりしています。私も、みんなに負けないようにがんばりました。

自主勉強では、じゅく語集めや理科のテスト勉強、算数のふく習など、毎日一生けん命取り組みました。

最近私は、友達に「面どうみがよくなったね」とか「頭がよくなったんじゃない」と言われます。4竹の子は、友達のがんばりを見て、すぐほめてくれます。そのまほうのよう



なやさしい言葉が、私を変身させてくれたと思います。私は、ほめられると、もっともっとがんばろうという気になります。算数のむずかしいがい数も、音楽のうら声で歌うことも、理科の実験も、たくさんがんばりました。理科の実験は、最初はこわかったけど、グループで協力したら、とても楽しいことが分かりました。たとえば、水は100度になるとふっとうし水蒸気になることの実験で、ガスバーナーに初めて火をつけたことがとても印象に残っています。このようなやさしい4竹ですごして、とても成長、変身することができました。今度は、みんなを変身させたいと思っています。